

LS四国のご紹介

ひと言で言うと、

四国でローカルSDGs（地域循環共生圏）に資する取組を生み出し、創造していくプラットフォーム！！



会員情報：団体会員129団体、個人会員4名（2022年11月11日時点）

※自治体、企業、金融機関、NPO等団体、教育機関などが入会されています。

協力機関：15機関（国の省庁、四国の国立大学など） アドバイザー：3名

LS四国の入会（会員登録）をお願いします！

会員になると（以下、一例を示す）

● 情報収集・共有・発信ができます！

- ・国などの補助金の情報がタイムリーに届きます。
- ・SDGs・地方創生等の取組の情報が知れます。
- ・自団体のSDGs・地方創生等の取組を発信できます。

● マッチング・仲間作りができます！

- ・分科会活動で一緒に取り組む仲間ができます。
- ・課題解決、取組促進に当たってのシーズを持った方との出合いの場を提供します。

● 会費は無料です。

※会員になっていただいた後の負担はございません。

会員登録はこちらから！！

以下のリンクもしくはQRコードの「入会申込書」に必要事項を記載の上、LS四国事務局 info@ls459.netまでご提出ください。
https://ls459.net/?page_id=51



徳島県グリーン社会推進課（分室）エコみらいとくしま

●脱炭素社会実現に向け、「持続可能な社会の創り手」を育成するため、環境とSDGsの関わりを意識した学びの構築 LS四国登録年度：2021～

■基本情報
 本社所在地 徳島県徳島市 西新浜町2丁目3-102
 事業概要 徳島県危機管理環境部 グリーン社会推進課（分室） エコみらいとくしま

■SDGsの取組・目標
 環境問題について関心をもち、自らの行動を変容していくことのできる人を育てるため、主に小学校への出前授業を通じて、子どもたちが環境問題について考える機会を提供している。今年度は、徳島県が実施している環境アドバイザー等専門家を積極的に活用し、子どもたちにとって印象に残る授業の創造を試みている。

■地域のステークホルダーとの連携
 2022年度の取組紹介！
 徳島県環境アドバイザーと学校の連携推進
 徳島県では、環境活動推進拠点「エコみらいとくしま」において、脱炭素社会の構築に向けて教育者のネットワークや地域の「人・モノ・知恵」を活かした取組活動を展開しており、その重要な担い手として、エコみらいとくしまが環境教育を積極的に実施している。具体的には、この問題に関する出前授業では、マテリアルリサイクルに取り組んでいる小学校2校と連携することとなった。1校は、校区にその会社のリサイクル工場があったため、児童が集めたペットボトルキャップを直接会社に渡す等、持続性のある取組が実現することが期待されている。

また、山間部地区にある小学校で実施した出前授業では、生物に詳しい環境アドバイザーが、子どもたちが採取した水生生物について、その場で説明したり、子どもたちと一緒に水質検査をしたりする等、子どもたちの環境意識を高める上で、効果的な取組を行っている。

■連絡先
 担当窓口：室内 博史 TEL: 088-663-5371
 E-Mail: info@ls459.net (info@ls459.net)

ローカルSDGs四国 地域エネルギー分科会

第五次全国環境基本計画を四国で
 具体化・事業化する
 2022.02.12

～成長とビジネスチャンス拡大に向けた脱炭素経済のSDGs経営とは～
地域脱炭素推進フォーラム
 in 四国

政府は脱炭素社会の実現を2050年までに実現し、1.5℃目標（カーボンニュートラル）達成に向けた目標を設定し、様々な業界で脱炭素社会の実現に向けた取組を推進している。地域の中企業において、政府では、企業等が脱炭素経営を推進し、上場の必要に応じて脱炭素経営の実績をアピールし、成長機会を創出する取組を推進する。本フォーラムでは、企業等が脱炭素経営を推進し、上場の必要に応じて脱炭素経営の実績をアピールし、成長機会を創出する取組を推進する。本フォーラムでは、企業等が脱炭素経営を推進し、上場の必要に応じて脱炭素経営の実績をアピールし、成長機会を創出する取組を推進する。

14:00～ 開場挨拶
 14:05～ 脱炭素経営について
 14:20～ 先進事例紹介、島根県知事挨拶
 15:45～ 各県の脱炭素経営紹介
 16:00～ 懇話会
 17:00まで 閉会

【対象】
 ・脱炭素・SDGsの取組をしたいがどのようにしたらいいか悩んでいる企業の方
 ・脱炭素・SDGsの取組で企業価値を向上したい企業の方
 ・脱炭素経営（SDGs経営）を推進したい地域の中企業の方
 ・脱炭素・SDGsを取り組んでいる企業と連携を強化したい団体の方

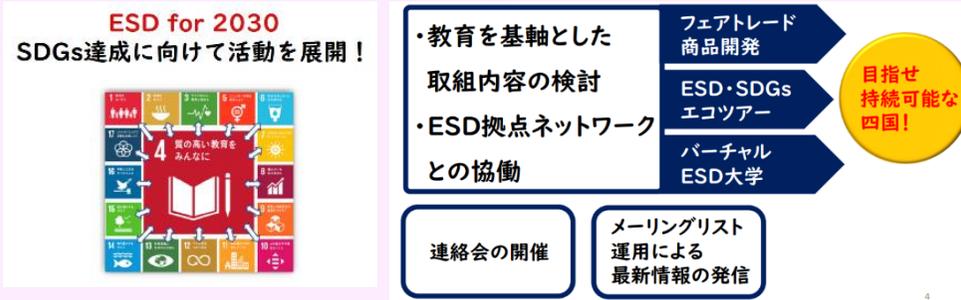
【参加費】
 参加ご希望の方は、申込フォームもしくはQRコードから申し込みください。
 ●定員：250名（先着順）
 ●申込締切：令和4年2月10日（木）16時
 ●申込受付：令和4年2月10日（木）16時～令和4年2月11日（金）16時
 ●申込先：ローカルSDGs四国事務局
 TEL: 087-616-2232
 E-mail: info@ls459.net



◆四国ESDチーム

事務局：四国ESDセンター

- 教育を基軸とした取組内容の検討
- ESD拠点ネットワークとの協働



◆地域エネルギー

事務局：株式会社 平野

- 四国の資源を活用した再エネの導入
- 健康で心豊かな暮らしの実現の事業化

【重点三分野】

- ・乃万地区再エネプロジェクト
今治市乃万地区に営農型発電の実践事例を作る。
- ・四国版LED 'S (PPAモデル) の普及
合同会社青い国REが始動。
- ・市民への啓蒙活動、バックアップ

◆多文化共生型の減災社会づくり

事務局：NPO法人えひめグローバルネットワーク

- 平時からの自助・共助推進ネットワークづくり
- 在住外国人向け防災・減災教育教材づくり

- ・四国内外の減災や多文化共生の方法を学ぶ
- ・在住外国人を含む災害弱者支援や地域の防災・減災能力の向上を目指した教材づくり
- ・四国内関係主体との連携による多文化共生・減災支援ネットワーク (SVOAD) づくり

◆SDGs事業促進検討分科会

事務局：株式会社愛媛銀行

- ・地元地域金融機関が協働し、定量的な評価基準の考え方を整理し、どの金融機関も同じ目線でSDGsへの取組みを評価できるスキームを検討。
- ・愛媛銀行、伊予銀行、三井住友信託銀行松山支店が分科会メンバー

◆南海トラフ地震香川液状化対策コンソーシアム

事務局：株式会社face

- ・過去の液状化の被害・メカニズムを認識し、取組を実施
- ・液状化による被害の可能性の調査・判定方法を検討等
- ・これらの方策等実施のための体制づくり及び人材育成を実施